



ネットワーク
全・労・生

の、講義を受ける度に
自分で新たな未来
への可能性を感じるこ
とができました。

また、他産別の方々と交流を図れたことも良かったです。私は印刷業界に身を置いていますが、自然の二二七

に嬉しく感じたことがあります。
今も憶えていります。

学んだ内容は言葉にすれば簡単ですが、実際に理論立てて思考するには誰もがつづ

明るい未来をつくる
ための手段としてユー
オン・カレッジはとて
も有益性が高く、受講
する意義は大きい。

2023年度全労生 ユーラン・カレッジを受講して

の、講義を受ける度に
自分で新たな未来
への可能性を感じ
ることができました。

データから見る雇用
と賃金の実情、変化と
多様化が絶え間ない働
き方、現代における労
働組合の役割、生産性

また、他産別の方々と交流を図れたことも良かったです。私は印刷業界に身を置いていますが、当然のことながら日々の生活は多くの産業で働く方々の支えによって成り立つて

に嬉しく感じたことを
今も憶えています。
「不易流行」
社会は時代の変遷と
共に今後もエンジニア
アップデートがされて
いくと思いますが、労
働運動の根幹に流れの

学んだ内容は言葉にすれば簡単ですが、実際に理論立てて思考することは難しいのです。それをたった10回の講義で新たな思考の足掛かりを得るのですが。

明るい未来をつくる」ための手段としてユーラン・カレッジはとても有益性が高く、受講する意義は大きく、参加することで得られるプラスαの経験は必ずあります。私が言うのはいさか不遜ではある

山口武宣

GSに限る観点と場
代において不可欠なCC
SRに通ずる考え方。限
られた文中で講義全て
の感想を書くには足り
ず、月並みな言葉です
が全ての講義が有意義
であったと心に沁みて
います。

いいます。皆様が各々の立場で「働く」ということを考え、「労働組合」としての役割に真摯に向き合っていることが感じられたことは、同じ「働く仲間」をして意見を交わす度

信念など不変とする部分もあります。パラダイムシフトが求められる時代の中、如何に「不变」と「変化」を見極めていけるかが労働運動と経営双方の発展に必要不可欠と考えま

できる。学んだことを
自組織で活用する」と
によつて組織自体のレ
ーゾンデートルが強ま
り、ひいては社会全体
の労働運動の活性化に
もつながっていく。

「働くすべての人々の

スがあればぜひ参加してみてください。きっとそこに未来への可能性が見えるはずです。

最後に、全労生・日本生産性本部の皆様、講師の皆様、そして受講された全ての皆様へ、感謝を。

学びと働く仲間との交流と

スがあればぜひ参加してみてください。きっとそこに未来への可能性が見えるはずです。

最後に、全労生・日本生産性本部の皆様、講師の皆様、そして受講された全ての皆様へ、感謝を。